

特別賞

兵庫県阪神南県民局
都市計画道路山手幹線
(神崎・戸ノ内)

表彰事業名	都市計画道路山手幹線（神崎・戸ノ内）		
表彰対象者	兵庫県阪神南県民局		
都市名	尼崎市	事業主体	兵庫県
事業概要	山手幹線は、尼崎市の府県境を起点に、西宮市、芦屋市を経て神戸市長田区に至る全長約30kmの阪神間における東西の主要幹線道路である。阪神淡路大震災時には、阪神高速神戸線の倒壊により、国道43号が交通規制されたため、国道2号へ交通が集中したことにより、避難、救助、消防活動や緊急物資等の輸送に大きな支障をきたした。このため、兵庫県をはじめ関係各市において、震災復興のシンボルロードとして未整備区間の解消と早期の全線供用を目指し事業に取り組むこととなった。 山手幹線の内、本工程は尼崎市の府県境に位置し、河川等で囲まれた地域となっていたため、震災時には橋梁等の被災により地区が半孤立の状態となったが、老朽化した藻川橋及び戸ノ内橋の架け替えにより耐震化すると共に、道路拡幅・歩道整備を行った。 ○事業延長：1,322m ○幅員：27～38m（4車線） ○総事業費：約150億円 ○事業期間：昭和48年度～平成18年度		
表彰理由	本事業の完成により、阪神間の東西主要幹線道路の一部が完成したことにより、南北主要幹線道路である県道尼崎池田線等と接続し、阪神北部地域へのアクセスが可能となったことが評価された。 事業実施にあたり、地域プランナーを配置し、まちづくり協議会を中心とした地元と行政による機度となる話し合いにより、信頼関係を築き上げ、安全・景観・環境等についての意見集約を図り、参画と協働による道づくりが実現できたことも評価された。		

